



追加型投信 / 海外 / 債券

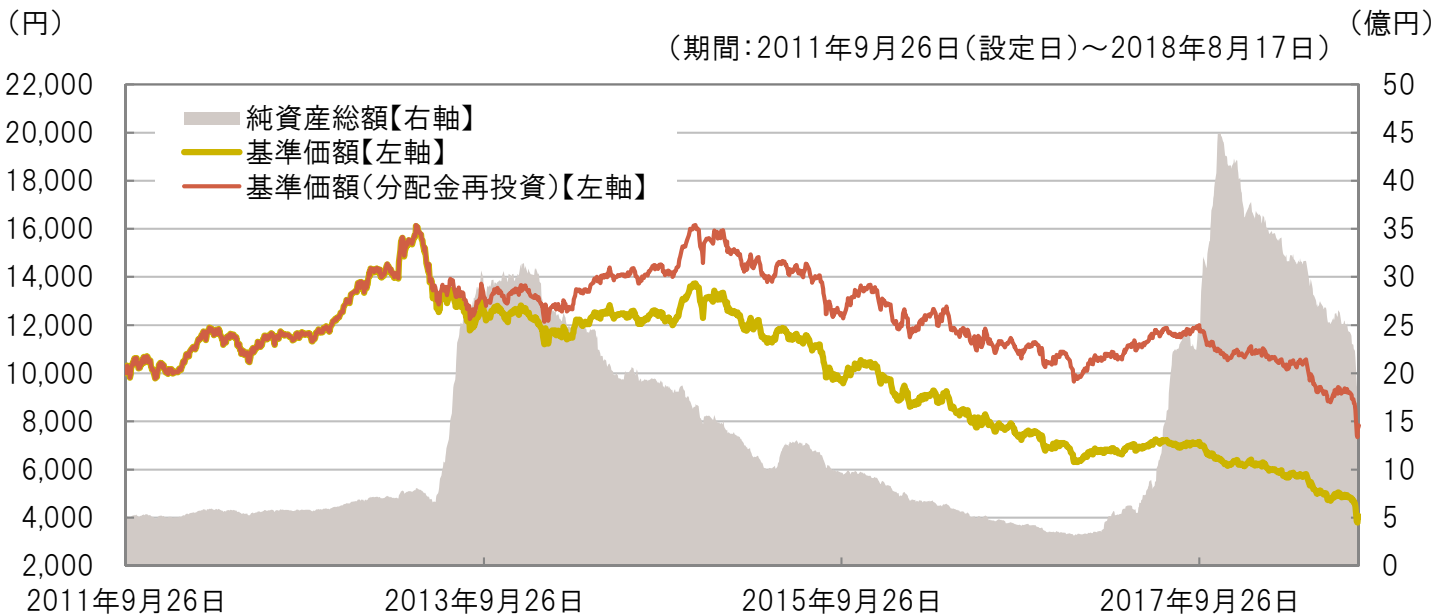
ネクスト・グロース・ボンド・オープン(毎月決算型)【愛称:夢こよみ】 足下の運用状況と今後の見通しについて

ファンド情報提供資料 / データ基準日: 2018年8月17日

平素より、「ネクスト・グロース・ボンド・オープン(毎月決算型)【愛称:夢こよみ】」をご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。

本レポートでは、当ファンドの基準価額推移、足下の運用状況および市場動向、今後の運用方針についてご案内申し上げます。今後も引き続き、当ファンドをご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

基準価額等の推移



- ・基準価額(1万口当たり)、基準価額(分配金再投資)は、運用管理費用(信託報酬)控除後の値です。
- ・信託報酬率は、後記の「ファンドの費用」に記載しています。
- ・基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。
- ・2013年5月21日に約款・目論見書の運用方法の変更を行い、投資対象を世界の資源国の公社債等から新興国の公社債等に変更、投資対象国を3カ国程度から複数に変更しています。したがって、設定日から2013年5月20日までの期間は変更前の運用方法による実績であり、現在の運用方法による実績と異なります。

足下までの約1年間の運用状況(期間: 2017年7月31日~2018年8月17日)

上記期間の基準価額(分配金再投資)は32.5%下落しました。

信用状況、経済環境、取引規制などを総合的に勘案のうえ、新興国の中から相対的に利回りが高く、質の高い成長が期待されると判断される国を2カ国選定しました。

足下までの約1年間における当ファンドの投資通貨はトルコリラ、メキシコペソの2通貨としており、各国通貨建て公社債の投資割合は、概ね50%ずつとなるよう運用しました。

債券の利子収益を享受したことなどがプラスに寄与したものの、トルコリラが対円で下落したことやトルコの債券価格が下落したことなどがマイナスに影響し、基準価額(分配金再投資)は下落しました。

■ 上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮していません。

ネクスト・グロース・ボンド・オープン(毎月決算型)【愛称:夢こよみ】

足下までの約1年間のトルコの投資環境と今後の見通しについて(期間:2017年7月31日~2018年8月17日)

＜債券市場＞

トルコの債券市場は、2017年9月から11月下旬にかけて、米国での追加利上げ観測の高まりなどから、金利は上昇(債券価格は下落)しました。その後2018年4月下旬頃までは、自国通貨安を背景としたインフレ加速懸念やシリア情勢を巡る不透明感が悪材料となったものの、トルコ中央銀行による利上げが好感されたことなどから、金利は概ね横ばいで推移しました。2018年5月以降は、大手格付け会社が経常収支の悪化や高インフレなどを背景に格下げを発表したことや、トルコ中央銀行の政策対応の遅れが懸念されたことなどから、金利は上昇基調で推移し、8月にはエルドアン大統領による利上げ牽制発言を受けたトルコ中央銀行の独立性への懸念や、米国との政治的緊張感の高まりが投資家心理の重石となり、金利は一段の上昇となりました。

＜為替市場＞

トルコリラは対円で大幅に下落しました。上記のように、インフレ加速懸念や米国との政治的緊張感の高まりなどがトルコリラの下落要因となりました。

＜今後の見通し＞

トルコの債券・為替市場は、金利面の魅力の高まりがトルコリラをサポートする要因と考えますが、高インフレと経常赤字という経済問題に加え、米国との外交関係の悪化など政治イベントに対する思惑から神経質な展開が続くと考えます。中長期的には中東情勢を巡る欧米諸国との政治動向や、エルドアン大統領率いる新内閣が投資家の信認回復に向け、高インフレや経常赤字に対して規律ある経済・財政政策を実行していくことができるかが鍵を握ると考えます。

・上記のコメントは作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。

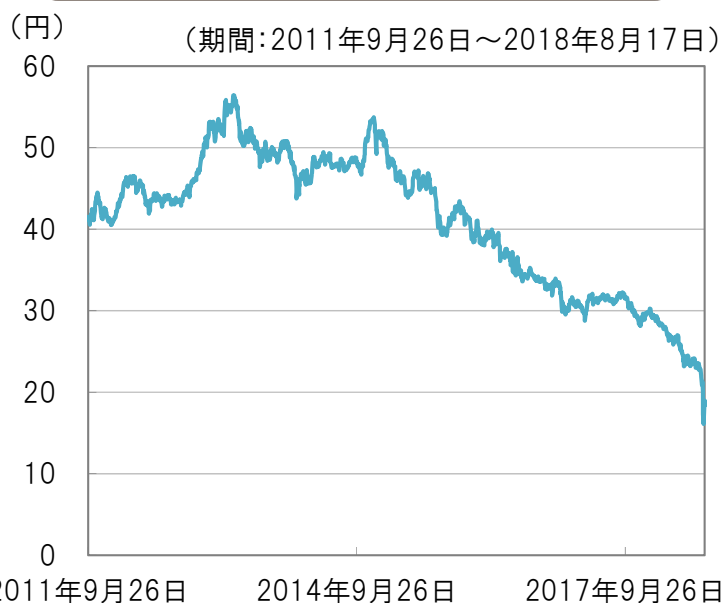
トルコ債券市場の価格推移

(期間:2011年9月26日~2018年8月17日)



トルコリラ(対円)の推移

(期間:2011年9月26日~2018年8月17日)



・上記は指数を使用しており、ファンドの運用実績を示すものではありません。指数については【本資料で使用している指数について】をご覧ください。・計測期間が異なる場合は、結果も異なる点にご注意ください。

(出所)Bloombergのデータを基に三菱UFJ国際投信作成

■上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮していません。

ネクスト・グロース・ボンド・オープン(毎月決算型)【愛称:夢こよみ】

足下までの約1年間のメキシコの投資環境と今後の見通しについて(期間:2017年7月31日~2018年8月17日)

＜債券市場＞

メキシコの債券市場は、2017年12月下旬にかけて、米国での税制改正の成立を背景とした景気拡大期待や、2018年以降も米連邦公開市場委員会(FOMC)が金融正常化を進めていく観測が優勢となったことなどから、金利は上昇(債券価格は下落)しました。その後2018年4月上旬にかけて、メキシコ中央銀行が利上げを実施する中、国内で発表された物価関連指標が市場予想を下回ったことなどから、金利は概ね低下(債券価格は上昇)基調で推移しました。また、5月に米国長期金利が年初来高値を更新し、メキシコを含む新興国全般に対する資金流出懸念が台頭したことや北米自由貿易協定(NAFTA)再交渉を巡る不透明感などを背景に金利は概ね上昇基調で推移しました。

＜為替市場＞

メキシコペソは対円で下落しました。2018年6月中旬にかけては、NAFTA再交渉の不透明感や2018年7月の大統領選に向けた政治リスクの高まりなどからメキシコペソは対円で下落しました。その後、大統領選で新興左派政党(MORENA)の候補、ロペスオブラドール氏が勝利し、選挙を巡る不透明感が後退し、メキシコペソは対円で上昇したものの、足下までの約1年を通してみると対円で下落して終わりました。

＜今後の見通し＞

メキシコの債券・為替市場は、相対的に高い金利水準等を背景とした資金流入が期待されるものの、ロペスオブラドール次期大統領は開放的な経済政策の見直しを主張しており、海外からの投資の減少が懸念されるほか、社会保障制度の拡充が財政へ及ぼす影響にも留意する必要があります。

・上記のコメントは作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。

メキシコ債券市場の価格推移

(期間:2011年9月26日~2018年8月17日)



メキシコペソ(対円)の推移

(期間:2011年9月26日~2018年8月17日)



・上記は指数を使用しており、ファンドの運用実績を示すものではありません。指数については【本資料で使用している指数について】をご覧ください。・計測期間が異なる場合は、結果も異なる点にご注意ください。

(出所)Bloombergのデータを基に三菱UFJ国際投信作成

■上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮していません。

ネクスト・グロース・ボンド・オープン(毎月決算型)【愛称:夢こよみ】

まとめ(足元までの投資環境、今後の見通し、今後の運用方針)

トルコでは、過去約1年間を通じてみると、自国通貨安を背景としたインフレ加速懸念や、経常収支の悪化など経済ファンダメンタルズ(経済の基礎的条件)が悪化したことなどから、債券・為替市場ともに売り圧力が強まる展開となりました。また、シリア情勢を巡る地政学リスクの高まりや、足下では米国人牧師拘束問題など米国との外交関係の悪化など政治リスクの高まりも、投資家心理の重石となり、同市場の下落要因となりました。

今後は、米国との政治的緊張感の高まりなどから神経質な展開が続くと考えます。同市場の反転上昇には、高インフレ、経常収支など構造的な問題に対してトルコ中央銀行が不断の姿勢で取り組んでいくことができるか、またエルドアン大統領率いる新内閣が投資家の信認回復に向けた政策運営を実行できるかが鍵を握ると考えます。

メキシコでは、過去1年間を通じてみると、米国での追加利上げ観測が高まる中、新興国全般に対する資金流出懸念が台頭したことやNAFTA再交渉の不透明感などから、債券・為替市場ともに下落する展開となりました。

今後は、米国と交渉が難航していたNAFTA協議における合意に向けた期待感の高まりや、これまでのメキシコ中央銀行による金融引き締め措置を通じた金利面での投資妙味の高まりなどから、同市場への資金流入が期待されます。一方、ロペスオブラドル次期大統領が掲げるエネルギー改革や社会保障制度の拡充など経済政策動向には留意が必要と考えます。

当ファンドでは、信用状況、経済環境、取引規制などを総合的に勘案のうえ、新興国の中から相対的に利回りが高く質の高い成長が期待されると判断される国に重点配分するという商品性に基つき、利回り水準・流動性・コスト等を勘案の上、必要に応じて投資国の入れ替え、投資国比率の変更を実施する方針です。

・上記のコメントおよび運用方針は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。

■上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮していません。

【本資料で使用している指数について】

・トルコ債券市場：JPモルガンGBI-EM(トルコ)

JPモルガンGBI-EM(トルコ)とは、J.P.モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが算出し公表している現地通貨建てのトルコ国債のパフォーマンスを表す指数です。

・メキシコ債券市場：JPモルガンGBI-EM(メキシコ)

JPモルガンGBI-EM(メキシコ)とは、J.P.モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが算出し公表している現地通貨建てのメキシコ国債のパフォーマンスを表す指数です。

上記の各指数の情報は信頼性があると信じるに足る情報源から得られたものですが、J.P.モルガンはその完全性または正確性を保証するものではありません。上記の各指数は使用許諾を得て使用しています。J.P.モルガンによる書面による事前の承諾なく同指数を複製、使用、頒布することは禁じられています。Copyright © 2018 J.P. Morgan Chase & Co. 無断複製・転載を禁じます。

収益分配金に関する留意事項

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

投資信託から分配金が支払われるイメージ

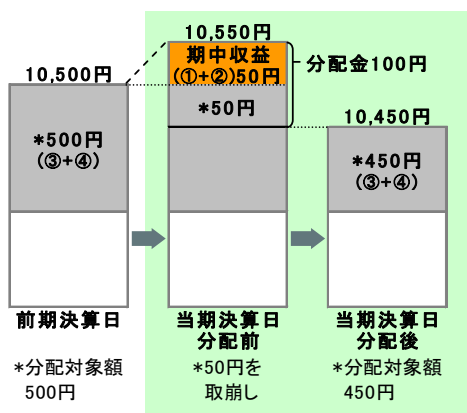


- 分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

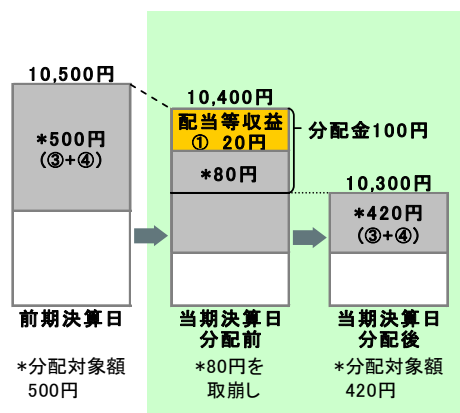
分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合

前期決算日から基準価額が上昇した場合



前期決算日から基準価額が下落した場合



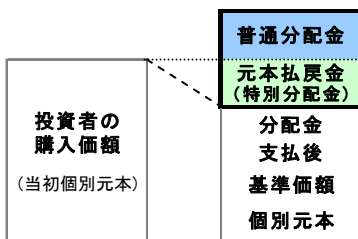
※上記はイメージであり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではありませんのでご注意ください。

分配準備積立金: 当期の①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益のうち、当期分配金として支払わなかった残りの金額をいいます。信託財産に留保され、次期以降の分配金の支払いに充当できる分配対象額となります。

収益調整金: 追加型投資信託で追加設定が行われることによって、既存の受益者への収益分配可能額が薄まらないようにするために設けられた勘定です。

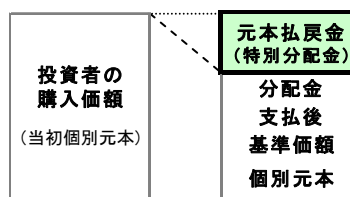
- 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりりが小さかった場合も同様です。

分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合



※元本払戻金(特別分配金)は実質的に元本の一部払戻しとみなされ、その金額だけ個別元本が減少します。また、元本払戻金(特別分配金)部分は非課税扱いとなります。

分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合



普通分配金: 個別元本(投資者のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。

元本払戻金(特別分配金): 個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者の個別元本は、元本払戻金(特別分配金)の額だけ減少します。

(注)普通分配金に対する課税については、投資信託説明書(交付目論見書)をご参照ください。

購入時手数料に関する留意事項

お客さまにご負担いただく購入時手数料の具体例は以下の通りです。販売会社によっては金額指定、口数指定どちらかのみのお取扱いになる場合があります。くわしくは、販売会社にご確認ください。

[金額を指定して購入する場合]

購入金額に購入時手数料を加えた額が指定金額となるよう購入口数を計算します。例えば、100万円の金額指定でご購入いただく場合、100万円の中から購入時手数料(税込)をご負担いただきますので、100万円全額が当該ファンドの購入金額となるものではありません。

[口数を指定して購入する場合]

例えば、基準価額10,000円(1万口当たり)の時に100万口ご購入いただく場合、購入時手数料=(10,000円÷1万口)×100万口×手数料率(税込)となり、100万円と購入時手数料の合計額をお支払いいただくこととなります。

ネクスト・グロース・ボンド・オープン(毎月決算型)【愛称:夢こよみ】

ファンドの目的・特色

■ファンドの目的

新興国の通貨建て公社債等を実質的な主要投資対象とし、利子収益の確保および値上がり益の獲得をめざします。

■ファンドの特色

投資対象 新興国の通貨建てソブリン債券[※]が主要投資対象です。

※ソブリン債券とは、各国政府や政府機関等が発行、または保証する債券や国際機関が発行する債券の総称です。

運用方法 投資にあたっては、信用状況、経済環境、取引規制等を総合的に勘案のうえ、新興国の中から相対的に利回りが高く質の高い成長が期待されると判断される国を複数選定します。

・各国の通貨別資産配分は、市場流動性や利回り水準等を勘案して決定します。

・通貨別資産配分の見直しは、原則として年2回行います。見直しにより組入資産の入替えを行う場合には、段階的に入替えを行います。

・市場急変等の際に先進国の流動性の高い公社債等へ投資を行う場合があります。

為替対応方針 原則として、為替ヘッジを行いません。

■分配方針

・毎月の決算時(13日(休業日の場合は翌営業日))に分配を行います。

・分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定するものとし、原則として配当等収益等を中心に安定した分配をめざします。ただし、6・12月の決算時には、毎月の分配金のほか、分配対象額の範囲内で委託会社が決定する額を付加して分配(ボーナス分配)する場合があります。

・分配対象収益が少額の場合には、分配を行わないことがあります。また、分配金額は運用実績に応じて変動します。将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

・ボーナス分配とは、特定月の決算時に売買益等がある場合に、毎月の配当等収益等から行う分配に上乗せして行う分配です。なお、売買益等がある場合でもボーナス分配を行わない場合があります。

■ファンドの仕組み

・運用は主にネクスト・グロース・ボンド・マザーファンドへの投資を通じて、新興国の通貨建て公社債等へ実質的に投資するファミリーファンド方式により行います。

市況動向および資金動向等により、上記のような運用が行えない場合があります。

投資リスク

■基準価額の変動要因

ファンドの基準価額は、組み入れている有価証券等の価格変動による影響を受けますが、これらの運用により信託財産に生じた損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。

したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。

投資信託は預貯金と異なります。

ファンドの基準価額の変動要因として、主に以下のリスクがあります。

価格変動 リスク	一般に、公社債の価格は市場金利の変動等を受けて変動するため、ファンドはその影響を受け組入公社債の価格の下落は基準価額の下落要因となります。
為替変動 リスク	組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いませんので、為替変動の影響を大きく受けます。
信用 リスク	組入有価証券等の発行者や取引先等の経営・財務状況が悪化した場合またはそれが予想された場合もしくはこれらに関する外部評価の悪化があった場合等には、当該組入有価証券等の価格が下落することやその価値がなくなること、または利払い・償還金の支払いが滞ることがあります。
流動性 リスク	有価証券等を売却あるいは取得しようとする際に、市場に十分な需要や供給がない場合や取引規制等により十分な流動性の下での取引を行えない場合または取引が不可能となる場合、市場実勢から期待される価格より不利な価格での取引となる可能性があります。
カントリー リスク	新興国への投資は、先進国への投資を行う場合に比べ、投資対象国におけるクーデターや重大な政治体制の変更、資産凍結を含む重大な規制の導入、政府のデフォルト等の発生による影響を受けることにより、価格変動・為替変動・信用・流動性の各リスクが大きくなる可能性があります。

■その他の留意点

・ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリングオフ)の適用はありません。

・ファンドは、ファミリーファンド方式により運用を行います。そのため、ファンドが投資対象とするマザーファンドを共有する他のペビーファンドの追加設定・解約によってマザーファンドに売買が生じた場合などには、ファンドの基準価額に影響する場合があります。

ご購入の際には、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

ネクスト・グロース・ボンド・オープン(毎月決算型)【愛称:夢こよみ】

手続・手数料等

■お申込みメモ

購入単位	販売会社が定める単位／販売会社にご確認ください。
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額 ※基準価額は1万円当たりで表示されます。基準価額は委託会社の照会先でご確認ください。
換金単位	販売会社が定める単位／販売会社にご確認ください。
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額
換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して6営業日目から販売会社においてお支払いします。
申込不可日	次のいずれかに該当する日には、購入・換金はできません。 ・ニューヨーク証券取引所、ニューヨークの銀行、ロンドン証券取引所、ロンドンの銀行、イスタンブール証券取引所、イスタンブールの銀行の休業日 ・ニューヨーク、ロンドンまたはイスタンブールにおける債券市場の取引停止日 ※具体的な日付については、委託会社のホームページ(「ファンド関連情報」内の「お申込み不可日一覧」)をご覧ください。
申込締切時間	原則として、午後3時までに販売会社が受けたものを当日の申込分とします。
換金制限	ファンドの資金管理を円滑に行うため、大口の換金のお申込みに制限を設ける場合があります。
購入・換金申込受付の中止及び取消し	金融商品取引所等における取引の停止、外国為替取引の停止、その他やむを得ない事情(投資対象国における非常事態(金融危機、デフォルト、重大な政策変更や資産凍結を含む規制の導入、自然災害、クーデターや重大な政治体制の変更、戦争等)による市場の閉鎖もしくは流動性の極端な減少等)があるときは、購入・換金のお申込みの受付を中止すること、およびすでに受けた購入・換金のお申込みの受付を取消すことがあります。
信託期間	2021年6月11日まで(2011年9月26日設定)
繰上償還	受益権の口数が10億口を下回ることとなった場合等には、信託期間を繰上げて償還となることがあります。
決算日	毎月13日(休業日の場合は翌営業日)
収益分配	毎月の決算時に分配を行います。／販売会社との契約によっては、収益分配金の再投資が可能です。
課税関係	課税上は、株式投資信託として取扱われます。個人受益者については、収益分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の譲渡益に対して課税されます。NISA(少額投資非課税制度)およびジュニアNISA(未成年者少額投資非課税制度)の適用対象です。税法が改正された場合等には、変更となることがあります。くわしくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

■ファンドの費用

お客さまが直接的に負担する費用

購入時手数料	購入価額に対して、 上限3.24%(税抜 3%) (販売会社が定めます) (購入される販売会社により異なります。くわしくは、販売会社にご確認ください。)
信託財産留保額	ありません。

お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用(信託報酬)	日々の純資産総額に対して、 年率1.458%(税抜 年率1.35%) をかけた額
その他の費用・手数料	監査法人に支払われるファンドの監査費用・有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料・有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用・その他信託事務の処理にかかる諸費用等についてもファンドが負担します。 ※上記の費用・手数料については、売買条件等により異なるため、あらかじめ金額または上限額等を記載することはできません。

※運用管理費用(信託報酬)および監査費用は、日々計上され、毎決算時または償還時にファンドから支払われます。

※上記の費用(手数料等)については、保有金額または保有期間等により異なるため、あらかじめ合計額等を記載することはできません。
なお、ファンドが負担する費用(手数料等)の支払い実績は、交付運用報告書に開示されていますのでご参照ください。

本資料のご利用にあたっての注意事項等

●本資料は、三菱UFJ国際投信が作成した資料です。投資信託をご購入の場合は、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。●本資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。●本資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。●本資料中のグラフ・数値等は、過去の実績・状況であり、将来の市場環境等や運用成果等を示唆・保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。●投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。銀行等の登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の補償の対象ではありません。●投資信託は、販売会社がお申込みの取扱いを行い委託会社が運用を行います。

●委託会社(ファンドの運用の指図等)

三菱UFJ国際投信株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号

加入協会:一般社団法人 投資信託協会

一般社団法人 日本投資顧問業協会

●受託会社(ファンドの財産の保管・管理等)

三菱UFJ信託銀行株式会社

<ホームページアドレス> <https://www.am.mufg.jp/>

<お客さま専用フリーダイヤル> 0120-151034

(受付時間 営業日の9:00~17:00)

ご購入の際には、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

販売会社情報一覧表

ファンド名称:ネクスト・グロース・ボンド・オープン(毎月決算型)

商号	登録番号等		日本証券業 協会	一般社団法人 日本 投資顧問業 協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種 金融商品 取引業協会
株式会社 イオン銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第633号	○			
株式会社 SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第44号	○		○	○
三菱UFJ信託銀行株式会社	登録金融機関	関東財務局長(登金)第33号	○		○	
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○